

有限会社大分合同新聞社 様

マーケティング機能統合型CMSで購読者向け会員制サイトを構築
乱立するWebサイトを統合して迅速・効率的な記事配信を実現

「複数のWebサイトが乱立し、コンテンツ管理も部署ごとにバラバラな状態。組織体制を変え、コンテンツ管理業務を1部署に集約し、Sitecore Experience PlatformにWebサイトを統合してコンテンツ管理を行うことで、業務の効率化が実現しました」

小山田 啓之 氏

大分合同新聞社 メディア・ソリューション局長
兼 インタラクティブ・メディア・センター長



課題

デジタル時代にふさわしい情報発信

新聞紙面だけでなく、Webによる情報配信をさらに充実したい

コンテンツの配信・管理の工数削減

複数の部門によるサイト管理、Webサイトの乱立による運用負荷を軽減したい

効果

Sitecore Experience Platformの導入により、新聞紙面で伝えきれないきめ細かな情報をリアルタイムで提供。スマートフォン等、新しいデバイスへもワンソースで配信

管理部門を1つに集約し、乱立していたサイトをSitecore Experience Platformで新規サイトに統合。1日約6,500回の多頻度の記事更新など、配信のスピードアップを実現

概要

有限会社大分合同新聞社様は、マーケティング機能統合型Web CMS「Sitecore Experience Platform」を導入し、デジタル時代にふさわしい形でユーザーのニーズに最適な情報を迅速に発信する仕組みとして、新聞購読者が無償で利用できる「プレミアムオンラインサービス「Gate (以下、Gate)」」を構築。あわせて、乱立していた同社関連サイトを統合し、効率的かつ効果的なコンテンツ発信を実現。ユーザーの利便性と満足度を向上している。

利用しにくいWebサイトが課題に

比較的早い時期から自社CMSを活用しWebサイトで記事を配信していた大分合同新聞社様。しかし、そのサイトは、約10年の運用を経て関連サイトが乱立し、見た目がバラバラで統一感がなく使い勝手が悪くなり、スマートフォン（以下スマホ）に未対応、コンテンツ管理が手動など、技術的にも時代遅れの様相を呈していた。

「当時は各部署が任意にWebサイトを立ち上げており、コンテンツの内容も場所も未整理で、收拾がつかない状態。ユーザーのニーズに合致した情報を優先的かつ迅速に提供できていないことも大きな課題でした」と、小山田氏は振り返る。

自社改修を見据え、拡張性を重視

同社は、こういった課題を解決し、新聞購読者へのサービス充実、サイトの統合を図るため、会員制サイト「Gate」の新規立ち上げを検討。その際にCMSとしてSitecore Experience Platformを採用した。

菊池氏は、選定ポイントとして拡張性の高さを挙げている。「自社でWebサイトを構築するため、機能の追加や改修がしやすい点を重視しました」。さらに、「富士通のように実績があり信頼の置けるベンダーのサポートを受けられる安心感」も理由として付け加えている。



菊池 達哉氏
インタラクティブ・メディア・センター
システムマネージャー



平本 耕一氏
システム担当シニアマネージャー

会社概要 有限会社大分合同新聞社 様
所在地 | 〒870-8605 大分市府内町3-9-15
代表者 | 代表取締役社長 長野 景一
創業 | 1886年4月3日
資本金 | 1,000万円
従業員数 | 355名
事業内容 | 新聞、雑誌発行、出版、各種事業
ホームページ | <http://www.oita-press.co.jp/>

大分合同新聞

サイトの統合、 記事配信の効率化を実現

同社は2013年10月に導入作業を開始し、2014年4月にGateを稼働。平本氏は、「APIをフル活用し、記事を自社データベースから投稿できるシステム、他社提供記事などを自動で投稿できるシステムを構築したことで、運用効率が向上しました」と語る。

Sitecore Experience Platformの導入により、同社のサイトはGateを含め、大半が統合されている。組織を変更してサイト管理担当部署を1つに集約し、サイトの統合を進めたことで、コンテンツ配信・管理の効率化が実現。APIを使用してサポートツールを日々開発・改良し、人員が構築当初から減少しても質・量を落とさず運用を継続している。

さらに、外部ニュースサイトへの自社記事の提供が容易になり、現在複数のサイトと連携し、配信が行われている。

自社開発スマホアプリで速報記事配信

大分合同新聞の購読者はGateに無料で会員

登録し、すべてのコンテンツを閲覧可能だ。ユーザーからは、お悔やみなど日常生活に密接した情報を新聞とWebサイトの両方で閲覧できる点を特に評価されている。災害やイベントなど大分に関わる重要な情報は会員以外でも閲覧できるため、Gateを見たユーザーが新聞の購読を申し込むこともある。

好評なのがスマホへの速報記事配信だ。大分に関わる重要なニュースをGateに投稿すると、プッシュ通知で即座にスマホへ配信される。会員、非会員に関係なく、同社製のスマホアプリをインストールしておけば誰でも閲覧できる。

同サイトのコンテンツの配信数は、1日あたり100件から、Sitecore Experience Platform導入後には600件に増大。サイトのセッション数は5%、ユーザー数は16%増加した。サイトのPVは10%減少したが、スマホアプリや記事提供を行っている他サイトを含めると導入前の約2倍になっている。

マーケティング機能の活用を検討

同社は現在、Sitecore Experience Platformのデジタルマーケティング機能の活用を検討し

ている。ユーザーの嗜好に合った記事を掲示するパーソナライズや、メール送信によるリピーターの確保といった機能を駆使し、ユーザー一人ひとりのニーズに対応し、満足度をより向上していくことが目標である。

小山田氏は、Sitecore Experience Platformが新聞製作システムと連携し、デジタルと紙のコンテンツをより効率的に活用できる将来像を見据える。一方で、「Gateの認知度を上げ、ユーザーを増やすことが、大分の情報を発信するメディアの役割の1つ」と語る。

富士通は、大分合同新聞社様が存分にSitecore Experience Platformを活用していただけるように、継続的にサポートしていく。

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン(総合窓口) **0120-933-200**
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター